

令和2年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要  
むらづくり部門

楽しんで農業！ 農業資源をフル活用したむらづくり

○集団等の名称 農事組合法人ゆめ野山（代表 松本 正之）

○所在地 奈良県五條市

○受賞理由

・地域の沿革と概要

五條市は、奈良県の南西部に位置する。同市山陰町とその近隣集落は、中山間地域に位置しており、不整形な小区画の谷間の水田で水稻が作付けされ、各農家所有の小型機械での生産が行われていた。

農機具の更新費用の増加や後継者の不足により、集落の会合では度々営農問題が話題となったことから、平成20年に山陰町を中心とした5集落によるほ場整備に着手。工事と並行して営農組合を立ち上げ、安定した農業経営を目指すため、事業完了に併せて農事組合法人ゆめ野山（以下、（農）ゆめ野山）を設立した。

・むらづくり組織の概要

（農）ゆめ野山は、山陰町と周辺4町の受益農家64戸が全員参加の農事組合法人であり、作物の生産・流通・販売、農業施設の維持管理、資源循環型農業を展開。5集落の地域住民を巻き込み、農地資源、水資源（農業水利）、営農施設、有機性資源、農村コミュニティといった地域の農業資源を一元的に管理している。

・むらづくりの取組概要

（1）農業生産面

- ① 法人管理のライスセンターで出荷するブランド米の契約販売、JAとの全量播種前契約としている小麦、飼料用米、WCS及び加工キャベツ、梅農家との契約栽培のシソなど、法人経営の安定化に向けて、流通販売に取り組んでいる。
- ② 地域の用水源であるため池の取水後の管理・運用を一元的に管理し、効率的な用水管理を実施している。
- ③ 将来に向け持続可能な農業を実現するため、関係機関と連携し、ドローンによる水稻直播栽培やICTを活用したスマート農業の実証に取り組んでいる。
- ④ 畜産農家から牛糞堆肥を水田農家に提供し、水田農家からWCSや稲わらを畜産農家に提供しており、耕畜連携による有機資源の地域内循環を実現している。

（2）生活・環境整備面

- ① 多面的機能支払交付金を活用し、自治会と連携して水路、ため池の草刈り、住民参加による道路改修、地区の美化活動などを行っている。
- ② （農）ゆめ野山が主催する田植え後の「さなぶり」、稲刈り後の「収穫祭」は、非農家を含めた地域住民が参加する行事となっており、地元集落の職種や世代を超えた様々な人々の交流の場となっている。また、県法人協会が主催する「農業法人フェア」や市民交流イベント等には積極的に参加し、お米等の収穫物販売を通じて都市住民との交流も深めている。
- ③ 「さなぶり」や収穫祭は、（農）ゆめ野山の女性部が企画・運営を担っている。また、女性部は地区の老人会と共同で、水田畦周りや道路脇に花苗の植栽、地区内の子供達との巻き寿司体験会を開催するなど、活躍の場を広めている。

・他地域への普及性と今後の発展方向

本取組は、農事組合法人による集落営農を核としたむらづくりに成功している事例であり、今後の取組の発展が期待できる。

担い手経営体としての生産販売機能と農地などの地域資源の管理や環境保全機能等、公益的な機能を5つの集落で実現し集落の活性化に寄与している本取組は、全国におけるむらづくりのモデル事例になり得るものである。